



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



Color & Comfort by Chemistry

平成26年11月14日

上場会社名 D I C株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4631 URL http://www.dic-global.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 義之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二宮 啓之 TEL 03-6733-3000  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	614,528	—	29,675	—	28,481	—	16,438	—
25年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 23,671百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	17.61	—
25年12月期第3四半期	—	—

当社ならびに一部を除く国内子会社は、平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、前第3四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の連結経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

〔参考〕

下記の%表示（調整後増減率）は、当第3四半期（平成26年1月1日から平成26年9月30日）に対応する前年同一期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日）と比較した増減率です。

売上高 営業利益 経常利益 四半期純利益 (単位：百万円)  
 614,528 6.9% 29,675 △11.2% 28,481 △4.3% 16,438 18.1%

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	797,195	246,850	28.0
25年12月期	761,690	218,947	25.6

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 223,096百万円 25年12月期 195,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年12月期	—	3.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	—	40,000	—	38,000	—	22,000	—	23.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

前連結会計年度は、決算期の変更により、3月決算であった当社ならびに国内子会社につきましては、平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9ヶ月間を連結対象期間としておりました。このため、対前期増減率については記載しておりません。

[参考]

下記の％表示（調整後増減率）は、平成26年12月期に対応する前年同一期間（平成25年1月1日から平成25年12月31日）と比較した増減率です。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	（単位：百万円）
通期	840,000 7.1%	40,000 △9.3%	38,000 △7.1%	22,000 △23.5%	

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料4ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	965,372,048株	25年12月期	919,372,048株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	3,433,596株	25年12月期	3,396,764株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	933,598,202株	25年12月期3Q	—株

当社は、平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、前第3四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績	1
(1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概要	1
(2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績	1
(3) 2014年度通期業績予想	3
2. 財政状態	4
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 経営成績

当社及び一部を除く国内子会社は、平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。当第3四半期連結累計期間の状況に関しては、海外子会社、国内会社ともに平成26年1月1日～9月30日までの期間について記載しております。なお、前年同期と比較する場合には、当期連結対象期間と同一の期間に調整した数値を前年同期実績として記載し、調整後の前年同期実績との対比による増減比を記載しています。

## (1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境については、北米・欧州においては、景気回復の継続が鮮明となりましたが、アジアでは、中国、東南アジアで成長が鈍化するなど、総じて不安定に推移しました。国内においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が長期化するなど、需要は弱含みで推移しました。

このような事業環境の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、出荷の増加や円安の影響などにより6,145億円と前年同期比6.9%の増収となりました。

営業利益は、原料高の影響などにより、297億円と前年同期比11.2%の減益となりました。

経常利益は、285億円と前年同期比4.3%の減益となりました。

四半期純利益は、164億円と前年同期比18.1%の増益となりました。

	前第3四半期 連結累計期間実績 (調整後)	当第3四半期 連結累計期間実績	前年同期比 (調整後)	
				為替影響排除後
売上高	5,751億円	6,145億円	+6.9%	+2.3%
営業利益	334	297	△11.2%	△13.7%
経常利益	298	285	△4.3%	--
四半期純利益	139	164	+18.1%	--

(注1) 当第3四半期連結累計期間の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均:平成26年1月～9月)は、103.34円/米ドル(前年同期:95.60円/米ドル)を適用しています。

(注2) 前年同期実績については、当期の連結対象期間に調整した数値を記載しています。

## (2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位:億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3 四半期 連結累計 期間実績 (調整後)	当第3 四半期 連結累計 期間実績	前年同期比 (調整後)		前第3 四半期 連結累計 期間実績 (調整後)	当第3 四半期 連結累計 期間実績	前年同期比 (調整後)	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
プリンティングインキ	2,885	3,061	+6.1%	+0.1%	128	119	△6.9%	△9.7%
ファインケミカル	961	1,032	+7.5%	+2.0%	103	103	+0.0%	△2.6%
ポリマ	1,279	1,414	+10.6%	+9.2%	82	55	△32.0%	△33.0%
アプリケーション マテリアルズ	896	920	+2.8%	+0.5%	54	54	△0.5%	△3.5%
その他、全社・消去	△270	△282	----	----	△33	△34	----	----
計	5,751	6,145	+6.9%	+2.3%	334	297	△11.2%	△13.7%

(注) 当期より一部の製品についてセグメント区分を変更しています。前第3四半期連結累計期間実績については変更後のセグメントに組み替えたうえ、当期の連結対象期間に調整した数値を記載しています。

各セグメントの業績は次のとおりです。前年同期比の（ ）内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、プリンティングインキセグメントの業績にはセグメント内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[プリンティングインキ]

・日本 売上高： 603億円 前年同期比  $\Delta$  3.2%  
営業利益： 24億円 前年同期比  $\Delta$ 30.4%

オフセットインキ及び新聞インキは、需要減少の影響などにより、減収となりました。グラビアインキは、需要が底堅く推移したことなどにより、前年同期並となりました。以上の結果、全体としては減収となりました。

営業利益は、原料高騰の影響などにより、減益となりました。

・米州・欧州 売上高： 2,081億円 前年同期比 +10.9% (+ 2.2%)  
営業利益： 71億円 前年同期比 +26.2% (+21.8%)

欧州では、パッケージ用インキは底堅く推移しましたが、出版インキは需要が弱含みに推移し、減収となりました。北米では、パッケージ用インキは好調に推移しましたが、出版インキ及び新聞インキは継続する需要減少の影響などにより、減収となりました。中南米では全品目が好調に推移し、増収となりました。以上の結果、全体としては、増収となりました。

営業利益は、品目構成の改善に加え、継続的な合理化努力などにより、増益となりました。

・アジア・オセアニア 売上高： 517億円 前年同期比 + 1.4% ( $\Delta$  1.9%)  
営業利益： 24億円 前年同期比  $\Delta$ 37.7% ( $\Delta$ 39.4%)

中国では、需要減少の影響などにより、オフセットインキ及び新聞インキが落ち込みましたが、グラビアインキが好調に推移したことから、増収となりました。東南アジアでは、新聞インキが需要減少などの影響を受けましたが、グラビアインキが好調に推移したことなどから、増収となりました。オセアニアでは、主に新聞インキが需要減少などの影響を受け、減収となりました。インドでは、全品目が好調に推移し、増収となりました。以上の結果、全体としては、現地通貨ベースでは減収となりましたが、円安の影響により増収となりました。

営業利益は、原料高騰に加え、コスト増の影響などにより、減益となりました。

[ファインケミカル]

売上高： 1,032億円 前年同期比 + 7.5% (+2.0%)  
営業利益： 103億円 前年同期比 + 0.0% ( $\Delta$ 2.6%)

顔料は、国内ではカラーフィルタ用が大きく伸びたほか、インキ用も堅調に推移したことなどにより、増収となりました。欧米では、インキ用の需要が減少しましたが、プラスチック用や化粧品用及び光輝材が伸びたことなどにより、増収となりました。TFT液晶は、需要は底堅く推移しましたが、拡販の遅れなどにより、減収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況により、前年同期並となりました。

## [ポリマ]

売上高： 1,414億円 前年同期比 +10.6% (+9.2%)  
 営業利益： 55億円 前年同期比 △32.0% (△33.0%)

国内では、エポキシ樹脂及び塗料用樹脂は、土木・建築向け需要が堅調に推移したことなどにより、増収となりました。ポリスチレンは、需要が底堅く推移したことなどにより、増収となりました。海外では、中国において需要が堅調に推移したことなどにより、増収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、品目構成の悪化及び原料高騰に対する価格是正の遅れなどにより、減益となりました。

## [アプリケーションマテリアルズ]

売上高： 920億円 前年同期比 +2.8% (+0.5%)  
 営業利益： 54億円 前年同期比 △0.5% (△3.5%)

工業用粘着テープは、スマートフォン向けの一部顧客の需要減少により減収となりました。PPSコンパウンドは、自動車関連用途に加え、電気・電子及び住設関連向けも好調に推移したこと、インクジェットインキはシェアが拡大したことなどから、増収となりました。機能性光学材料は、電気・電子向け需要が回復基調に転じたことから増収となりました。以上の結果、全体としては若干の増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況により、前年同期並となりました。

## (3) 2014年度通期業績予想

(単位：億円)

	前期実績 (調整後)	通期予想 ※ (前回予想)	前期比 (調整後)	
				為替影響排除後
売上高	7,840	8,400 (8,500)	+7.1%	+2.6%
営業利益	441	400 (500)	△9.3%	△11.6%
経常利益	409	380 (460)	△7.1%	--
当期純利益	288	220 (245)	△23.5%	--

※ ( ) 内の数値は2014年8月7日公表値

(注) 前期実績については、当期の連結対象期間に調整した数値を記載しています。

## (業績予想の修正理由)

前回予想に比べ、国内の消費増税の反動からの回復遅れ、原料高騰の影響及び高付加価値新製品が計画値を下回ったことなどから、上記の通り業績予想を修正致します。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれています。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原材料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第3四半期末の資産の部は前期末と比べて355億円増加し、7,972億円となりました。主として債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したことによるものです。負債の部は、支払債務が減少しましたが、有利子負債の増加等により、前期末比76億円増の5,503億円となりました。また、純資産の部は、四半期純利益の計上及び増資等により前期末比279億円増の2,469億円となりました。

## 3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,576	24,242
受取手形及び売掛金	212,821	223,199
商品及び製品	86,402	88,907
仕掛品	8,963	10,166
原材料及び貯蔵品	50,483	57,513
その他	27,343	32,046
貸倒引当金	△10,794	△8,687
流動資産合計	390,794	427,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	92,001	92,887
機械装置及び運搬具(純額)	70,609	69,054
工具、器具及び備品(純額)	8,355	8,660
土地	55,027	52,463
建設仮勘定	7,767	9,160
有形固定資産合計	233,759	232,224
無形固定資産		
のれん	1,666	1,530
ソフトウェア	10,356	8,940
その他	3,539	3,271
無形固定資産合計	15,561	13,741
投資その他の資産		
投資有価証券	41,615	40,922
退職給付に係る資産	15,822	20,855
その他	66,834	62,691
貸倒引当金	△2,695	△624
投資その他の資産合計	121,576	123,844
固定資産合計	370,896	369,809
資産合計	761,690	797,195



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,023	108,140
短期借入金	79,810	108,581
コマーシャル・ペーパー	—	25,000
1年内償還予定の社債	5,000	10,000
未払法人税等	7,613	3,057
賞与引当金	3,977	6,498
災害損失引当金	343	136
その他	65,461	66,861
流動負債合計	278,227	328,273
固定負債		
社債	28,000	8,000
長期借入金	180,262	157,375
環境対策引当金	1,997	1,885
退職給付に係る負債	32,830	31,557
資産除去債務	984	1,027
その他	20,443	22,228
固定負債合計	264,516	222,072
負債合計	542,743	550,345
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	91,154	96,557
資本剰余金	88,758	94,161
利益剰余金	89,166	99,970
自己株式	△883	△893
株主資本合計	268,195	289,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,945	2,279
繰延ヘッジ損益	△438	△182
為替換算調整勘定	△40,037	△34,431
退職給付に係る調整累計額	△34,447	△34,365
その他の包括利益累計額合計	△72,977	△66,699
少数株主持分	23,729	23,754
純資産合計	218,947	246,850
負債純資産合計	761,690	797,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	614,528
売上原価	487,906
売上総利益	126,622
販売費及び一般管理費	
従業員給料及び手当	32,627
貸倒引当金繰入額	1,627
賞与引当金繰入額	3,520
退職給付費用	2,185
その他	56,988
販売費及び一般管理費合計	96,947
営業利益	29,675
営業外収益	
受取利息	1,280
受取配当金	320
持分法による投資利益	2,250
その他	2,394
営業外収益合計	6,244
営業外費用	
支払利息	5,156
為替差損	111
その他	2,171
営業外費用合計	7,438
経常利益	28,481
特別利益	
固定資産売却益	434
負ののれん発生益	371
特別利益合計	805
特別損失	
固定資産処分損	2,945
リストラ関連退職損失	1,101
減損損失	699
特別損失合計	4,745
税金等調整前四半期純利益	24,541
法人税等	7,473
少数株主損益調整前四半期純利益	17,068
少数株主利益	630
四半期純利益	16,438

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,068
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	278
繰延ヘッジ損益	256
為替換算調整勘定	5,070
退職給付に係る調整額	273
持分法適用会社に対する持分相当額	726
その他の包括利益合計	6,603
四半期包括利益	23,671
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	22,716
少数株主に係る四半期包括利益	955

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月17日付で公募増資を実施いたしました。また平成26年6月27日付で、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第2四半期連結累計期間において資本金が5,403百万円、資本剰余金が5,403百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が96,557百万円、資本剰余金が94,161百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	プリンティン グインキ	ファイン ケミカル	ポリマ	アプリケーシ ョンマテリア ルズ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	306,112	76,419	138,996	92,032	613,559	969	614,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26,804	2,395	—	29,199	—	29,199
計	306,112	103,223	141,391	92,032	642,758	969	643,727
セグメント利益	11,925	10,266	5,548	5,357	33,096	24	33,120

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	33,096
「その他」の区分の利益	24
全社費用(注)	△3,445
四半期連結損益計算書の営業利益	29,675

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間においては、「ポリマ」セグメントにおいて699百万円の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間においては、「ポリマ」セグメントにおいて371百万円の負ののれん発生益を計上しております。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より一部の製品についてセグメント区分を変更しております。